

学校の建物を見ながら

水道橋の信号を渡ると都立芸芸高校の赤いオブジェが目に入りました。順天堂大学のそばから方向を変え、春日通りの坂を上ると、中央大学、都立竹早高校、東京学芸大学付属竹早中学校・小学校、区立茗台中学があり、区立第一中学の近くを通過して、ゴールの教育の森公園に到着しました。学校の建物の違いを見るのも楽しかったです。(小4/大堀真真)



なっていました。せっかくなら上ってきた坂を下り、シビックセンターから富坂警察署までの長い坂を上りきると、あとはほとんど平らでした。ゴールでは達成感がありました。(小4/芹川莉那)

トーチ持って長い上り坂

文京区には115カ所以上の坂道があり、お茶の水坂、新巻坂、富坂、湯立坂を歩きました。長い上り坂では、トーチを持ったランナーにはけっこうきついと思いました。富坂からゴールの教育の森公園までは、日本人初のオリンピック選手の金栗四三が、通学路として毎日走った道です。(小5/ゆき)

ゴールでは達成感

上り坂の先にある順天堂大学は新型コロナウイルスの接種会場に



聖火リレーが上り坂に入る富坂下交差点

通りの木々が涼しく

聖火リレールートには「日本マラソンの父」と言われている金栗四三が教師をしていたころ勤めていた東京府立第二高等女学校(現都立竹早高校)があります。ルート途中の外堀通りは、木がたくさん植えてあり、走っていると涼しかったです。また自転車が走る道と歩行者が歩く道と分かれていました。(小6/田中杏依)

大舞台で、うらやましい

聖火リレーのルートになっている春日通りや、シビックセンターを通る礒川マラソン大会に2回出場したことがあります。坂を聖火を持って上るのは大変だろうなと思います。聖火ランナーの人たちはこんな大きな舞台で走れて、かっこよくてうらやましいです。(小6/今津利康)

水戸光圀が「後樂園」命名

後樂園は水戸藩初代藩主、徳川頼房が作庭家・徳大寺左兵衛に命じて築いた庭園です。第2代藩主の水戸光圀が名付けて、1629(寛永6)年に完成しました。

西アフリカ・ベナンの大使館は区内唯一の大使館です。有名なタレントにゾマホン・ルフィンさんがいます。(小5/福島真人)

天照皇大神をおまつり

ルート周辺には小石川大神宮があります。伊勢の「遙宮(とうのみや)」と呼ばれ、天照皇大神をご祭神としておまつりしています。今年5月7日に本殿が新しくなり、神社の説明書きがいろんな所であって分かりやすいです。(小4/久保山澤音)

播磨坂に不思議な銅像

播磨坂は道路の中央部が緑道として整備されています。坂の上半分は足元にさくら模様のタイルがある洋風ゾーンで、「風韻」(佐藤忠良作)の銅像があります。下半分は水路があり、小さな橋がかかる和風ゾーンで、私が特に好きな「哲学者」(掛井五郎作)の銅像があります。きつ



播磨坂にある緑道。オアシエが立っている

と難しいことを考えているのだろうけど、とても面白そうな姿の不思議な銅像です。(小5/木村夏央)

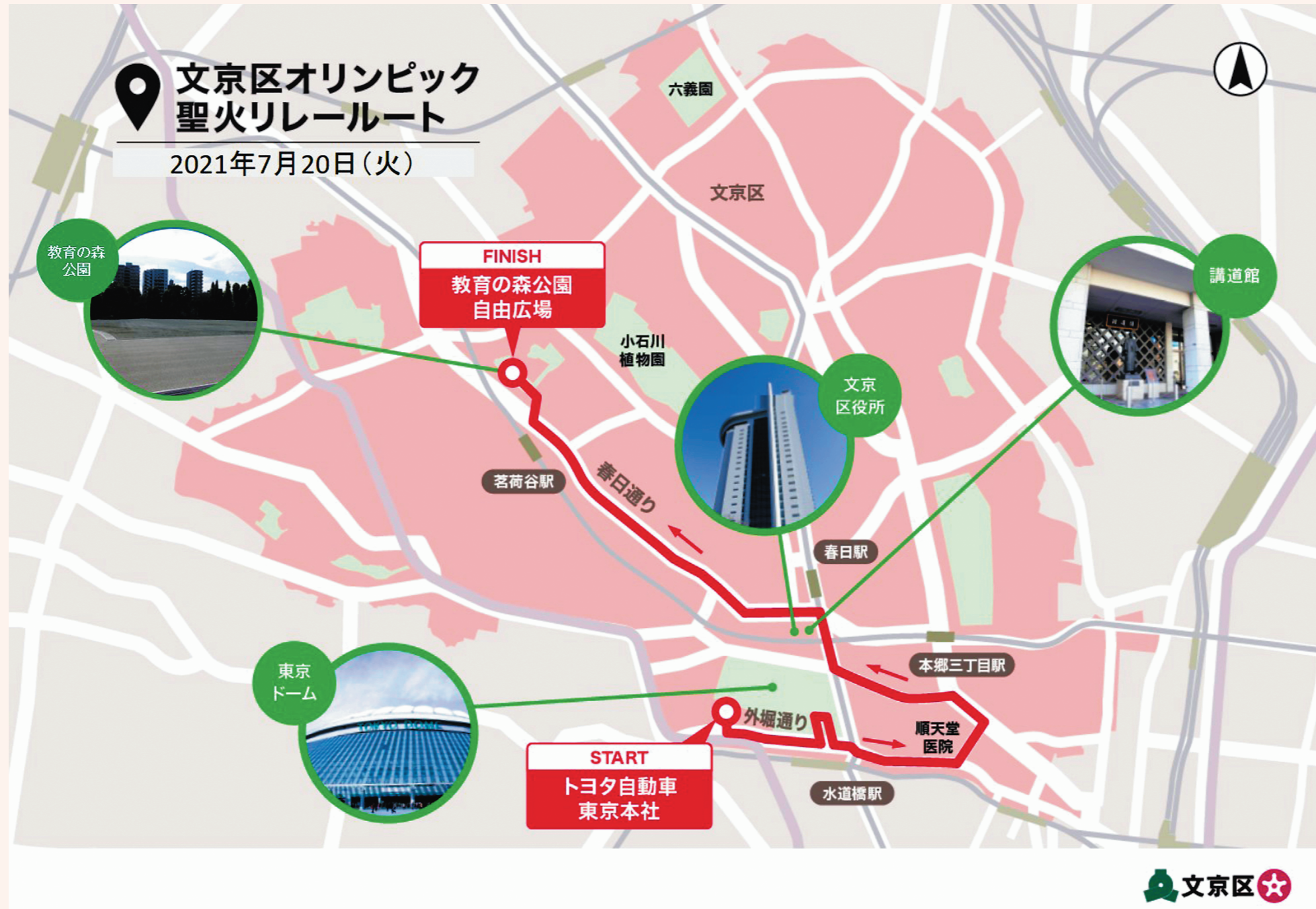
魅力的な場所が多く

老岐坂を下る途中の右側に「東洋女子歯科医学専門学校発祥の地」という石碑と説明があります。白山通りを右折すると講道館前に嘉納治五郎の銅像があり、ゴール地点の教育の森の横には「筑波大学」と「放送大学」があります。ルートには魅力的な場所がたくさんあると思います。(小5/豊島悠太)

聖火リレールート 歩いてみた

7月20日 区内を駆ける

文京区の聖火リレーは7月20日に行われる予定です。リレーはトヨタ自動車・東京本社前を出発し、順天堂医院、シビックセンターを経て、教育の森公園自由広場にゴールします。この記事ではそれぞれルートを歩き、街の様子取材しました。



スタート地点で色鮮やか

文京区の聖火リレーのスタート地点、トヨタ東京本社には緑いっぱいの植え込みがあり、紫、青、白のあじさいが涼しげに咲いていました。本番に向けて準備していることなどを聞くと、トヨタの方は「選手や応援の方の中に外国人もいらっしゃると思い、外国語を話することができる人をたくさん採用しています」。東京ドームホテルの方は「選手が通るときに、車を誘導することに気を付けます」と答えてくださいました。(小5/小澤一葉)

宇宙に咲く花をイメージ

文京区の聖火リレーでは、地図を定規で測ると約5%高くなることを知りました。東京ドームシティにはふんすいのある池があり、コスモフラワーとよばれるうちゅうにさく花をイメージしたおかしな形のものが見えました。講道館には嘉納治五郎先生の像がありました。おじいさんは治作、お父さんは治郎作というそうです。(小4/松本龍聖)

高低差を活かした公園

元町公園は坂の高低差を活かしたつくりで、三層です。カスケードと呼ばれる小さな人工的な滝は、公園内の高低差がうまく使われています。広場には砂場、二連式滑り台やブランコなども設置されています。また公園の端はテラス状で眺めると美しい緑の風景も観ることができます。1923年に関東大震災の被害を受け、東京都が都市復興のため整備しました。30年に完成しましたが、第二次世界大戦で門扉などを失い、復元されました。(中3/大迫輝)



元町公園の正面入口

講道館前に立つ嘉納治五郎像

今では、国際柔道連盟に加盟する国と地域は200を超えています。(小6/大迫輝)

春日局の墓にちなんで

「春日通り」は、春日局のお墓のある麟祥院が近くにあることから名付けられたそうです。麟祥院は、木がたくさんあっていろいろな鳥の鳴き声が聞こえました。(小5/近内由佳)

200の国・地域が柔道

講道館を作った嘉納治五郎は流派ごとに違う「柔術」のルールを統一し、「柔道」というスポーツを認めさせました。1909年にアジア初の国際オリンピック委員会委員に就任し、40年の東京オリンピック開催の招致に成功しました(戦争のため開催は中止)。(小4/垣本律紀)

選手のポスターで元気

東京ドームシティを過ぎ、坂を上ると順天堂大学があり、オリンピック選手のポスターが入り口にはあったので元気が出ました。サッカー通りを歩き、老岐坂を下ると嘉納治五郎の銅像があり、オリンピックにゆかりのあるところを通るんだと思いました。(小5/松本匠平)

1カ所だけ細い道を

せいりりルートで、1カ所だけ「サッカー通り」という細い道を通ります。日本に一つしかない「サッカーミュージアム」が文京区にあることをみんなに知ってもらいたいからだと思います。(小5/本間柚菜)

トーチやユニホームも

日本サッカーミュージアムは、2003年に開設されました。

新型コロナウイルスの拡大状況により、公道での聖火リレーが中止になる場合があります。最新の情報は区のホームページ=QRコード。

